

血管がくすむ原因物質「リポフスチン」を除去するエキスを発見 血色を良くし透き通るような肌に

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:釘丸和也)は、血管の内皮細胞に存在する「リポフスチン」を除去するエキスを発見しました。リポフスチンは、加齢とともに蓄積する老化色素であり、血管に溜まることでくすみの原因になると考えられています。リポフスチンを取り除くことで、血管にアプローチすることができることから、血色の良い透き通るような肌へ導くことができると期待されます。本成果は、ポーラ・オルビスグループから発売される製品に活用されます。

血色の悪さの原因として血管のくすみに着目

血色が悪いと肌が濁ったように感じ不健康に見られがちであるため、多くの人が改善したいと考えています。血色は、肌表面から透けて見える毛細血管を流れる血液の色です。そのため血色の改善には血行促進が効果的とされていますが、それだけではあまり改善実感を得られないことがあります。そこで私たちは、コップがくすんでいるといくらきれいな水を注いでも濁って見えてしまうように、改善実感を得られない原因は、血液が流れる血管のくすみにあるのではないかと考えました(図1)。

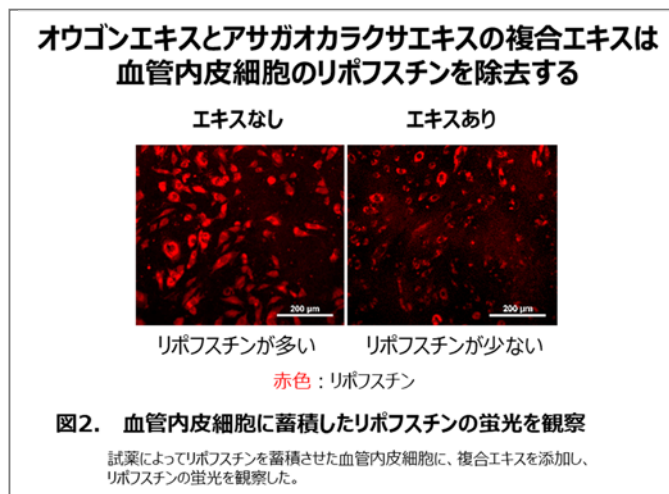
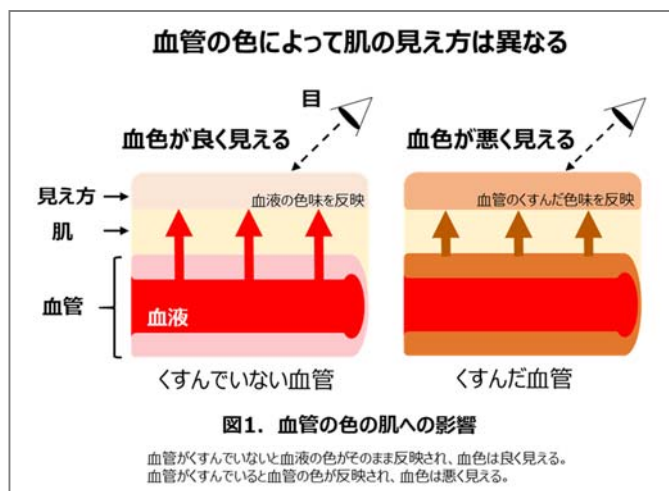
血管のくすみの原因物質リポフスチン

血管をくすませる原因物質として、細胞の中に存在する老化色素「リポフスチン(補足資料 1)」が挙げられます。リポフスチンは色素物質の一種で、自然には分解されにくく加齢とともに細胞内に蓄積することが知られており、リポフスチンが溜まった血管は血色に影響を与えていると考えられます。したがって、血管内皮細胞のリポフスチンを取り除くことができれば、血管のくすみを改善し、血色の良い肌になると考えました。

血管内皮細胞のリポフスチンを除去するエキスを発見

血管のくすみを改善するため、リポフスチンを除去できるエキスを探索しました。その結果、オウゴンエキスとアサガオカラクサエキス(補足資料 2)の複合エキスに効果があることを発見しました(図2)。この複合エキスにより、血管のくすみを取り除くことができると考えられます。

これにより、従来の血行促進に加え、血管のくすみを改善する新たなアプローチによって、より一層透き通るような血色のよい肌へ導くことができると期待できます。



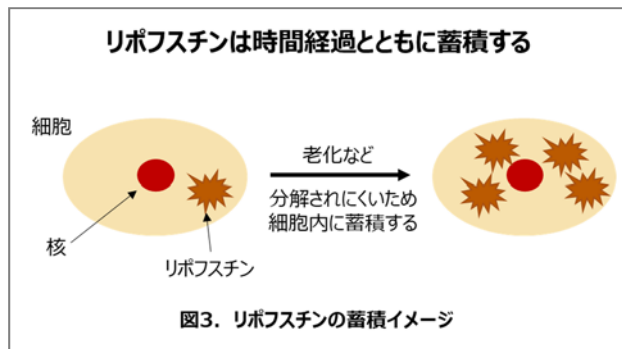
【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。

【補足資料 1】 リポフスチンについて

リポフスチンは、過酸化脂質や過酸化タンパク質が変性してできた色素物質の一種です。自然に分解されにくく、加齢とともに蓄積していくため、「老化色素」と言われています。細胞の種類を問わず存在しますが、細胞内で分解しきれずに残るため、増殖や再生がほとんどない神経や心臓の細胞内に多く存在することが知られています。

一方、血管の内皮細胞にも存在していることから、蓄積すると血管をくすませる原因物質になりうると考えられます。



【補足資料 2】 オウゴンエキスと EA エキスについて

・オウゴンエキス

オウゴン(学名:*Scutellaria Root*)は、中国北部から東シベリア、朝鮮半島原産で、東アジア各地に栽植されるコガネバナ(学名:*Scutellaria baicalensis Georgi*)の根から採取され、古くから漢方や生薬として利用されています。



図4. コガネバナ

・アサガオカラクサエキス

中国の広西、広東、福建などに分布しているアサガオカラクサ(学名:*Evolvulus alsinoides L.*)の地上部から抽出したもので、女性ホルモンの働きを高めることが知られています。



図5. アサガオカラクサ